



Midorea—OV vol.3

阿賀野市

次世代へつなぐ、有機米。

阿賀野市は、約40年前からパルシスシステム生活協同組合の組合員らを招いた田植ツアーナど産直交流を通じ、有機米の生産・販売に取り組んできました。現在では、健康や環境保全の意識の高まりなどを背景に、有機への注目度が高まり、有機米に対する需要は旺盛な状況です。

一方、販売単価が高い有機米と言えども、生産に手間がかかることから、新たに有機米を生産する者は急激には増えず、また、既存生産者の作付面積も同様の傾向にあります。

そこで、令和6年度から「オーガニックビレッジ事業」と銘打つて、「スマート農業による作業の省力化」「学校給食への提供」などに取組み、有機米の産地化だけでなく、阿賀野市産米のブランド価値向上を目指し、令和7年7月、「オーガニックビレッジ宣言」を行いました。

ACCESS

新潟駅や新潟空港
(新潟市)から車で
約30分





○環境にやさしい農業の推進
現在進めている「地産地消」の取組に
有機農産物も位置づけて、市内小中
学校の学校給食での使用量を増やし
ていきます。

○学校給食への提供
現在進めている「地産地消」の取組に
有機農産物も位置づけて、市内小中
学校の学校給食での使用量を増やし
ていきます。

○環境にやさしい農業技術の活用
自動抑草ロボット、乗用除草機など
省力化に役立つスマート農業技術を
普及させ、従来の除草技術（チーン
除草など）と組み合わせた雑草管理
を進めます。

農業法人(エコファームささかみ・夢の谷ファーム)と 地域おこし協力隊

阿賀野市では、新規就農者の確保を目指し、また、有機米の栽培を学べる環境を整えるために、阿賀野市オーガニック推進協議会を立ち上げ、就農準備資金に関する県認定研修機関として認定を受けました。

その中心的な研修先が「エコファームささかみ(株)」と「農事組合法人夢の谷ファーム」です。

エコファームささかみ(株)は、農業支援サービス事業体としての役割も担っており、有機米の栽培においては、令和7年度から、乗用除草機を活用した水田除草受託に取組み、オペレーターとして地域おこし協力隊が活躍しています。



農業者(瀬藤達哉さん)と 地域おこし協力隊

阿賀野市では、令和6年度から「オーガニックビレッジ事業」と銘打って、有機米の产地化に向けて活動しており、取組みの一つとして、学校給食へ有機米を供給しています。令和7年度からは、米だけでなく、野菜の供給にも挑戦するために、有機野菜(学校給食主要野菜)の実証栽培にも取り組んでいます。実証者の中には、地域おこし協力隊を受入れ、じゃがいも、長ネギ、人参、大根といった野菜を試験的に栽培する方もおり、少しずつ活動の輪を広げています。



令和4年10月に開業した道の駅あがの。阿賀野地域を中心に、農産物、お土産などを販売し、地元の食材を使った料理も提供しています。

道の駅あがのは、有機農産物販売コーナーを設置したり、オーガニックに関するイベント会場になるなど、市が取組む「オーガニックビレッジ事業」の情報発信機能を担っています。

取組みの1つとして、環境に配慮した農業を応援するために、温室効果ガスを減らした農産物であることを示す「みえるらべる」が貼られた農産物の販売にも取り組んでいます。

営業時間 9時～18時
元日・不定休
阿賀野市蓬川原553-2

